

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束廃止と虐待防止への積極的な取り組みを行っているが、スピーチロックへの認識が甘い。	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束廃止と虐待防止への継続的な取り組みを行う。 ・職員への指導、教育を徹底する。 ・スピーチロックのより専門的な知識を身につけ、職員の共通理解を図る。 ・個人の人格を尊重した対応ができるようになる。 ・身体拘束廃止委員会、虐待防止委員会、運営推進会議の開催を通じ、様々な視点から助言を受けることで、介護の質の向上に役立てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①身体拘束廃止勉強会の実施(マニュアルの周知徹底、事例検討、スピーチロックと思われる課題を各職員が持ち回りで選出し、検討後に実施・評価する。倫理、虐待理解度テストの実施)。 ②身体拘束廃止委員会と虐待防止委員会を定期開催する。 ③運営推進会議での活動状況の報告を行う。第三者からの助言を受ける。 ④高齢者虐待防止と身体拘束について、外部の講師を派遣してもらい、研修会を開催する。また、外部研修に参加する。 	6か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。